

# 第3回小瀬川河川整備懇談会 ～住民意見・アンケート集計結果～

平成25年8月8日

国土交通省中国地方整備局

# 1. 小瀬川河川整備計画アンケートの実施状況（提供方法）

## 1) 新聞折り込み

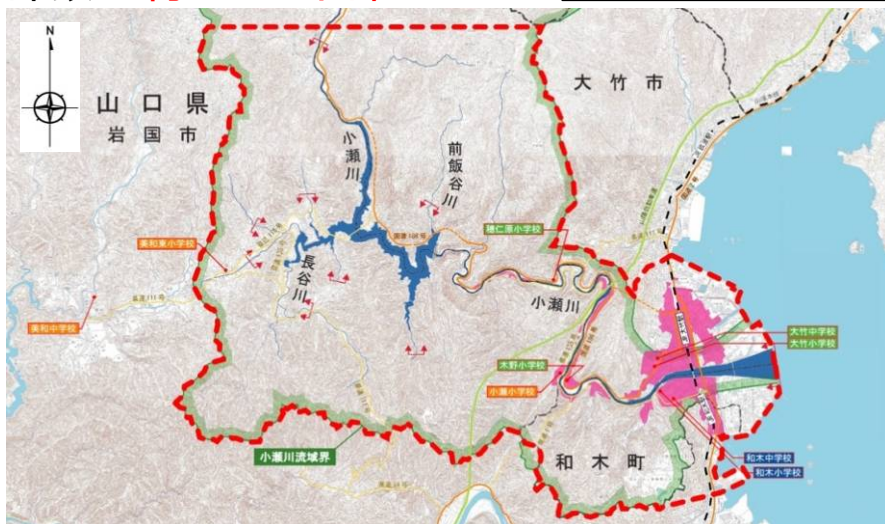
### ●新聞折り込みエリア

- ・ 広島県（大竹市）
- ・ 山口県（岩国市、和木町）

### ●折込日：H22. 9. 27

### ●配布部数：約 1万3千部

- ↑↑ : 国管理区間
- : 小瀬川想定氾濫区域
- - - : 市町境界
- - - : 新聞折り込みエリア



## 2) 小中学校を通じた配布

### ●対象

小瀬川流域内に所在する小中学校の保護者  
(小学校6校、中学校3校)

### ●配布部数：約 2千部

## 3) 公共機関等に常設

### ●常設場所

- ・ 大竹市：大竹市役所、大竹支所、木野（7箇所）支所、総合体育館、栄公民館、コミュニティサロン栄町、コミュニティサロン元町
- ・ 岩国市：岩国市役所、美和総合支所、（3箇所）小瀬出張所
- ・ 和木町：和木町役場、和木町文化会館、（5箇所）和木町図書館、和木町保健相談センター、和木町総合福祉会館
- ・ 広島県：県庁、広島県西部水道事務所（2箇所）
- ・ 山口県：県庁、小瀬川工業用水道事務所（2箇所）
- ・ 国土交通省：太田川河川事務所、小瀬川（3箇所）出張所、弥栄ダム管理所

### ●配布部数：約 1千部

※太田川河川事務所HPからもアンケートへの回答を可能とした。

合計 約1万6千部を配布

# 1. 小瀬川河川整備計画アンケートの実施状況（回収状況、集計方法）

◆回収状況・・・H22. 11. 30現在 **719通**（回収率：約4.5%、必要標本数400サンプルを上回る）

◆集計方法・・・以下の2通りの単純集計を実施

- ①回答者全体意識の把握：回収全数（719通）を対象
- ②地区毎の意識の違いを把握：人口・資産の分布状況、地形・氾濫特性を考慮し、お住まいの地区エリア別に集計

アンケート回収状況

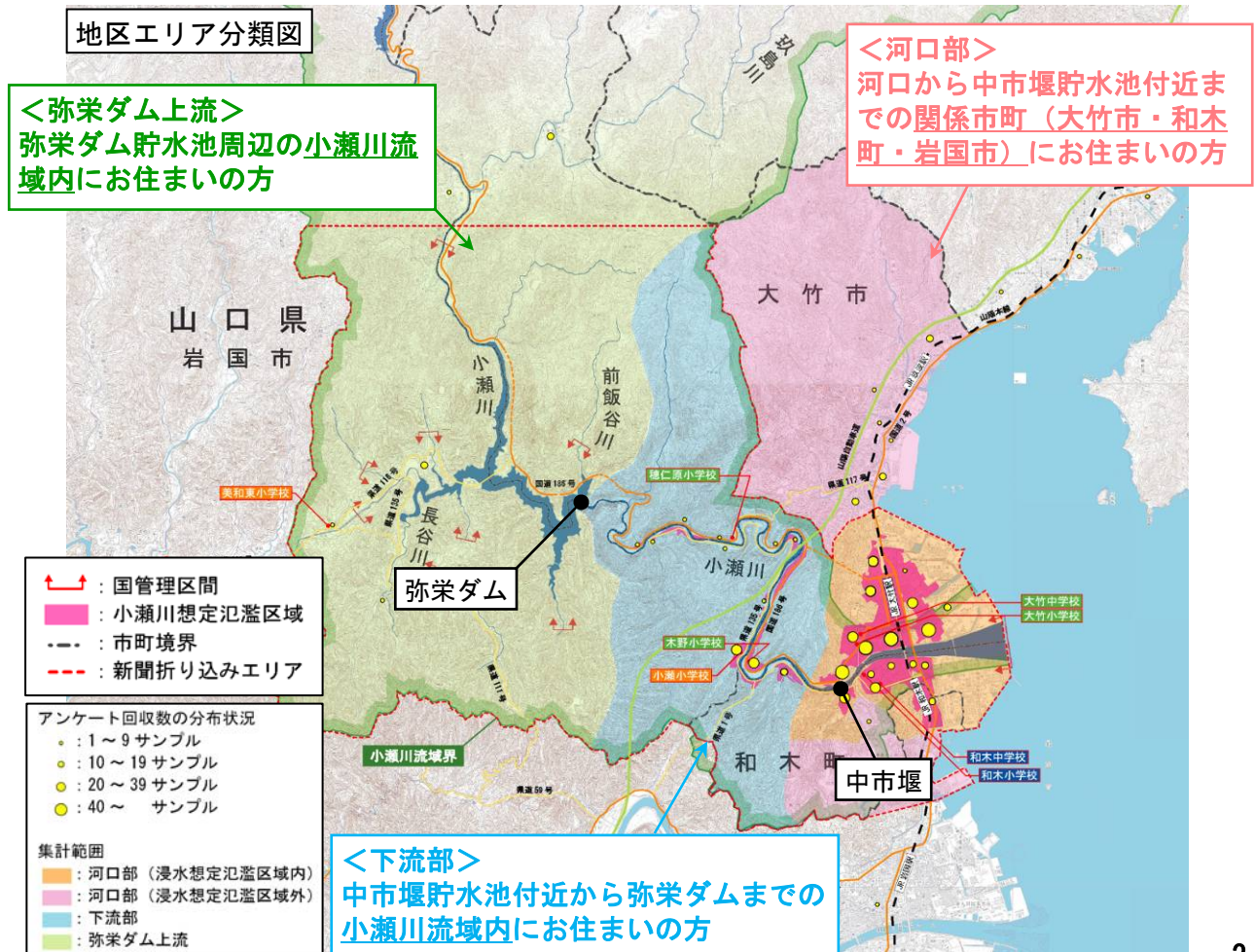
弥栄ダム上流の地区名一覧		
市町名	地区名	回収数
大竹市	栗谷町	10
岩国市	美和町	19
	美和町釜ヶ原	4
	美和町佐坂	8
	美和町日宛	1
小計		42

下流部の地区名一覧		
市町名	地区名	回収数
大竹市	木野	27
	防鹿	2
	穂仁原	2
	比作	1
和木町	安条	4
	関ヶ浜	10
岩国市	小瀬	34
	小瀬小原	4
	小瀬御堂原	3
	小瀬乙瀬	3
小計		91

河口部の地区名一覧			
市町名	地区名	回収数	
大竹市	南栄	57	
	西栄	25	
	東栄	13	
	北栄	3	
	新町	47	
	本町	40	
	元町	65	
	白石	29	
	油見	29	
	立戸	28	
	和木町	和木5丁目	11
		和木4丁目	15
		和木3丁目	10
和木2丁目		29	
岩国市	和木1丁目	10	
	瀬田	20	
大竹市	装束町	14	
	小方	14	
和木町	黒川	6	
	御園台	13	
	港町1丁目	6	
	湯舟町	2	
	玖波	18	
	蜂ヶ峰	2	
	小計		506

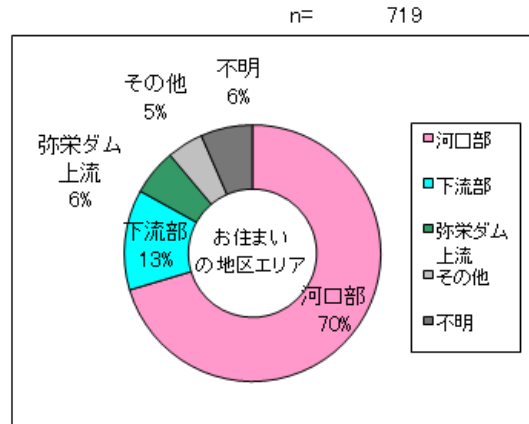
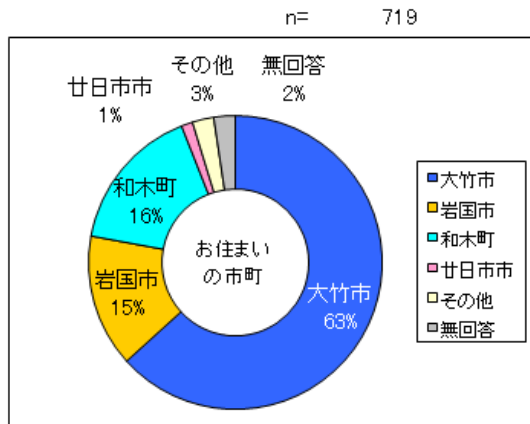
河口部・下流部・弥栄ダム上流以外の地区名一覧		
市町名	回収数	
その他(廿日市市・広島市・小瀬川流域外の岩国市)	33	
不明	47	
小計	80	
回収数(合計)		719

地区エリア分類図



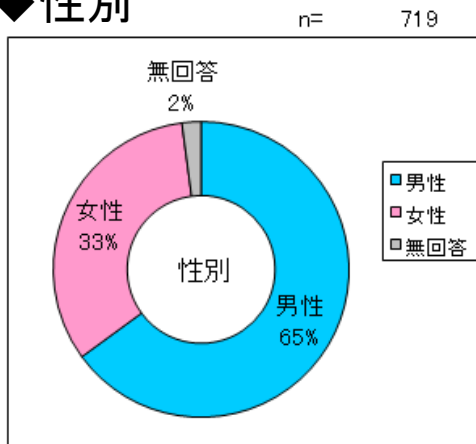
## 2. アンケートの集計結果（回答者属性）

### ◆お住まいの市町、地区エリア



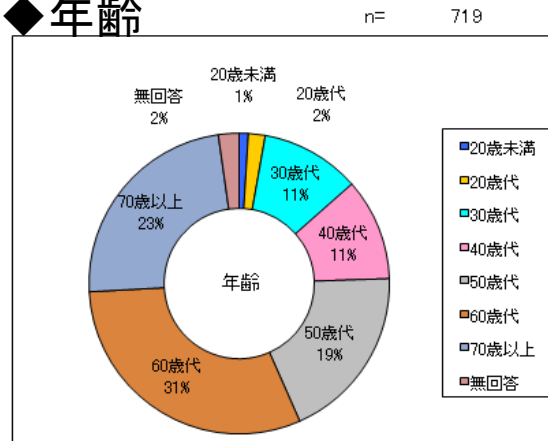
- ・大竹市にお住まいの方が約6割と最も多く、広島県・山口県の両県の方からバランスよく回答されている。  
(広島県：山口県=6：4の割合で配布し、概ね同程度の回収状況となっている)
- ・お住まいの地区エリア別では、人口・資産の集中する河口部（大竹市や和木町）にお住まいの方が回答者全体の約7割を占めている。

### ◆性別



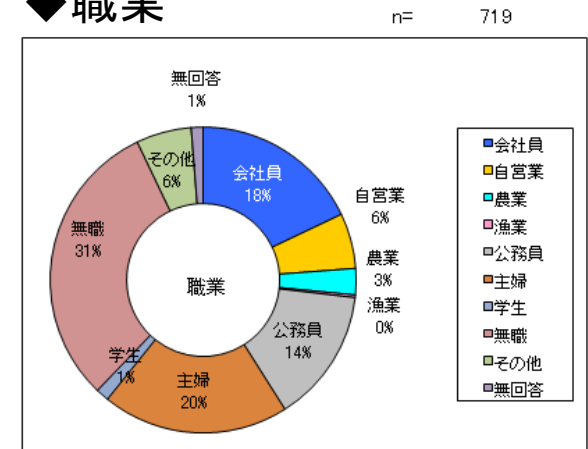
- ・回答者の男性・女性の比率は約7：3となっている。
- ・お住まいの地区エリア別でも、同様の比率となっている。

### ◆年齢



- ・回答者の年齢構成は、年代が高くなるにつれて回答者数が多くなり、60歳代が約3割と最も多くなっている。
- ・回答の5割以上を60歳代以上の方が占めている。

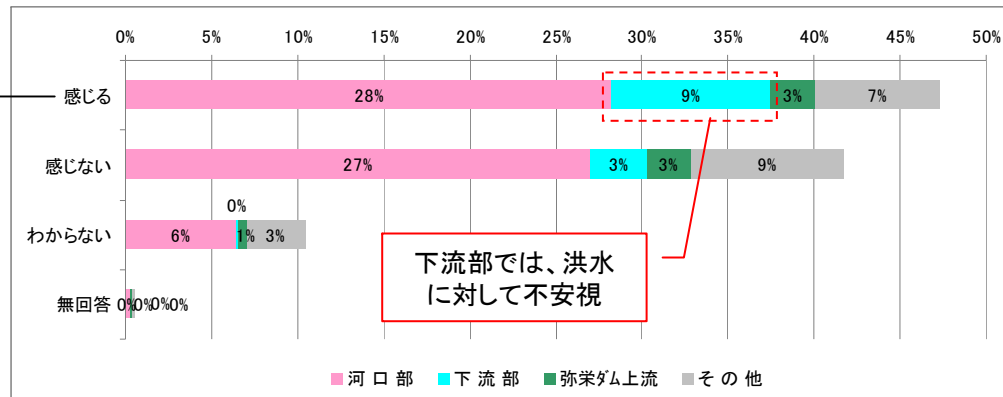
### ◆職業



- ・無職の方が約3割、主婦の方が約2割、会社員・公務員の方が1割以上を占めている。
- ・その他はいずれも1割未満だが、大きな偏りなく回答が得られている。

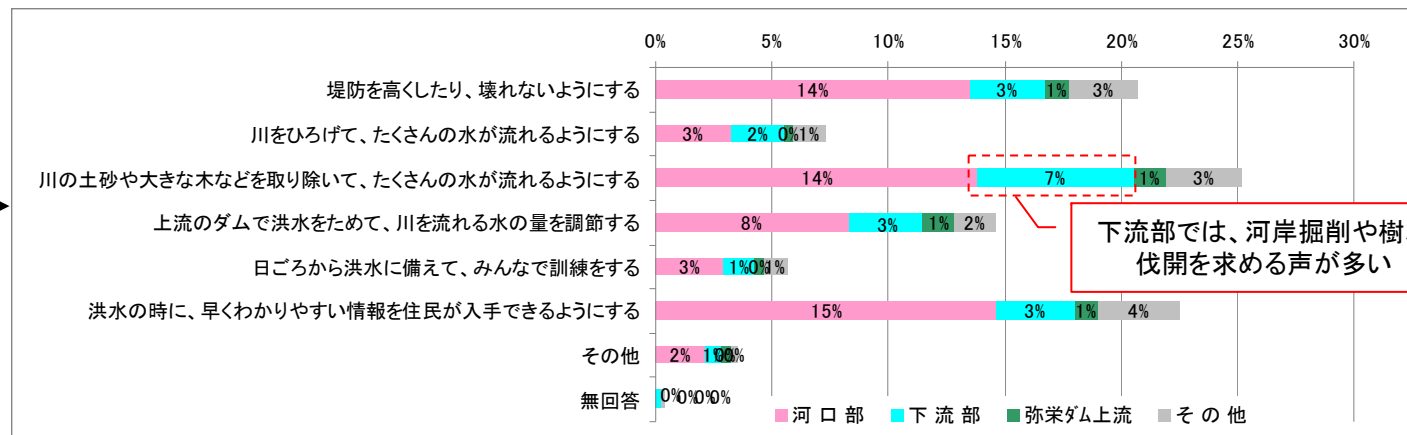
## 2. アンケートの集計結果（「洪水対策」について）

Q1-1. 現在の小瀬川は、洪水に対して不安を感じますか。



- ・洪水に対して不安を感じる方は全体の約5割を占めているが、不安を感じない方も約4割と高くなっている。
- ・お住まいの地区エリア別でみると、河口部と弥栄ダム上流では両者に大きな差は無いが、**下流部（中市堰貯水池付近から弥栄ダムまでの小瀬川流域内）**では、洪水に対して不安を感じる方の割合が多くなっている。

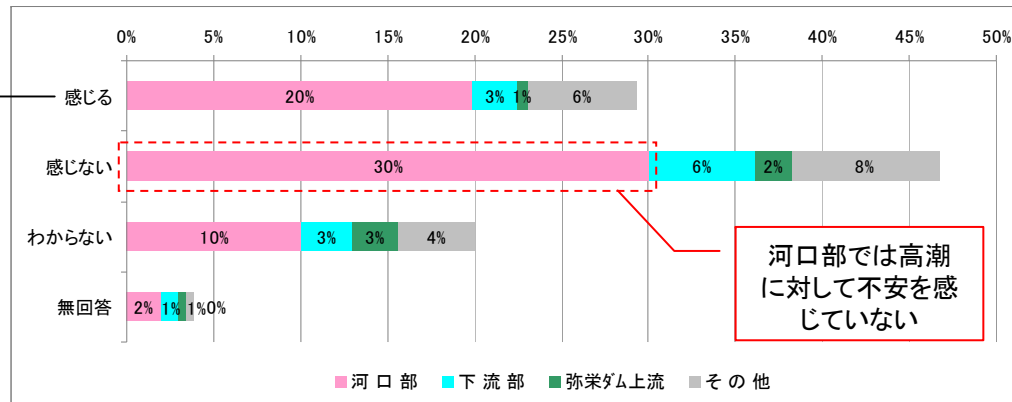
Q1-2. 前の設問Q1-1で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。（複数回答可）  
小瀬川で洪水が起こる場合にそなえて、今後どのような対策が必要だと思いますか。



- ・今後必要だと考える洪水対策は、  
①築堤や堤防質的整備  
②河岸掘削や樹木伐開  
③迅速な河川情報の提供  
がそれぞれ2割以上を占めている。
- ・お住まいの地区エリア別でみると、河口部と弥栄ダム上流では①②③に大きな差は無いが、**下流部では②の割合が多くなっている。**

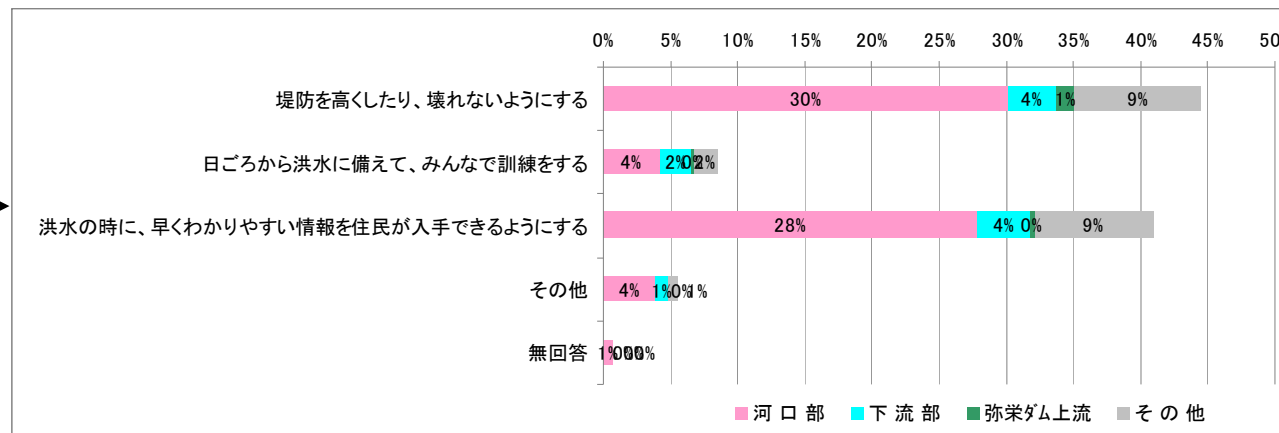
## 2. アンケートの集計結果（「高潮対策」について）

Q1-3. 現在の小瀬川は、高潮に対して不安を感じますか。



- ・高潮に対しては不安を感じない方が全体の約5割を占めており、不安を感じる方は約3割弱となっている。
- ・特に、河口部（河口から中市堰貯水池付近までの関係市町）では、高潮に対して不安を感じない方の割合が多くなっている。
- ・これより、現状の高潮堤防の老朽化などの情報提供不足が伺える。

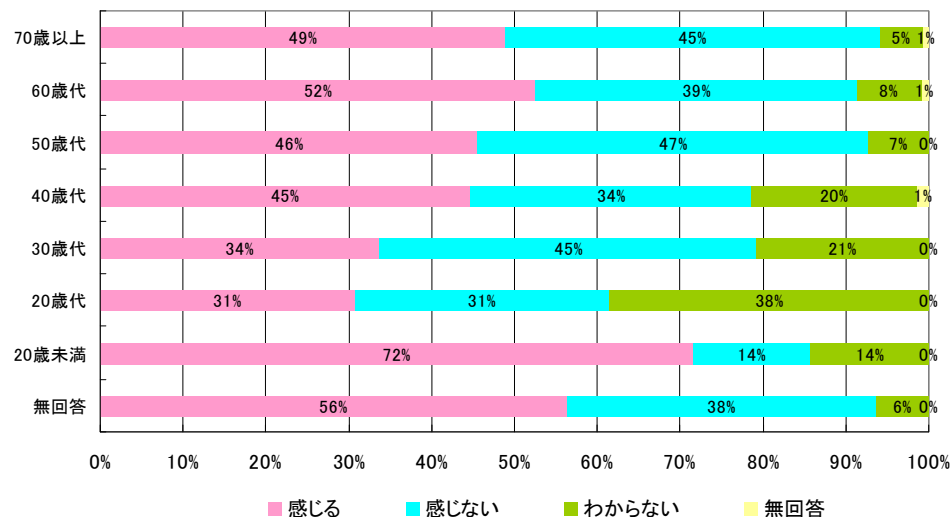
Q1-4. 前の設問Q1-3で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。（複数回答可）  
小瀬川で高潮が起こる場合にそなえて、今後どのような対策が必要だと思いますか。



- ・今後必要だと考える高潮対策は、  
①築堤や堤防質的整備  
②迅速な河川情報の提供  
がそれぞれ4割以上を占めている。
- ・いずれの地区エリア別でも①②を求める声は同程度になっている。

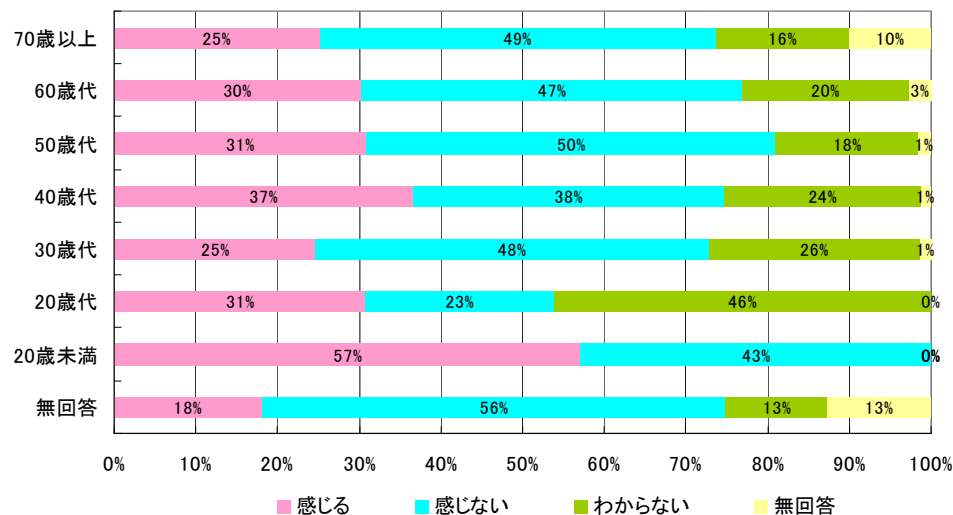
## 2. アンケートの集計結果（「洪水対策」、「高潮対策」の年代別回答）

### Q1-1. 現在の小瀬川は、洪水に対して不安を感じますか。（年代別回答）



- ・ 20歳以上の年代は、洪水に対して不安を感じる方と感じない方の割合は同程度となっている。
- ・ 20歳未満は不安を感じる方の割合が多くなっている。
- ・ ただし、20歳以下（20歳代と20歳未満）の回答者は計20名であり、他年代と比較して極端に少ない。

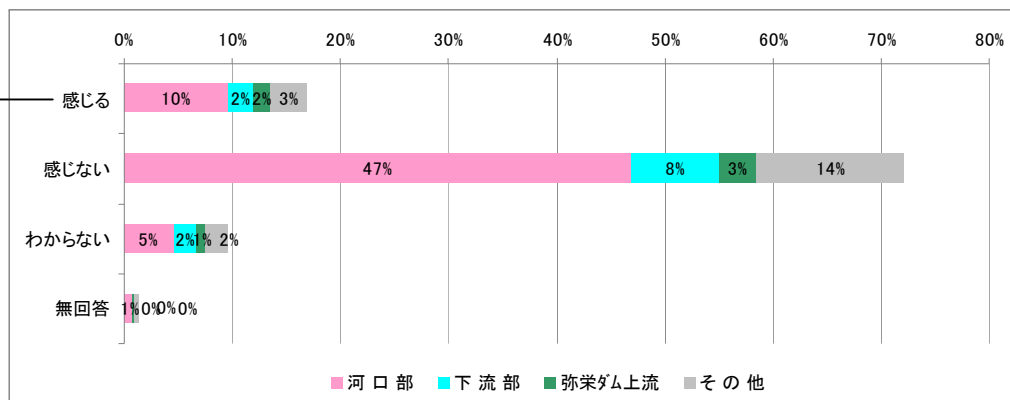
### Q1-3. 現在の小瀬川は、高潮に対して不安を感じますか。（年代別回答）



- ・ 30歳代及び50歳代以上の年代は、高潮に対して不安を感じない方の割合が全体の約5割を占めている。
- ・ 40歳代は、高潮に対して不安を感じる方と感じない方の割合は同程度となっている。
- ・ 20歳代は、わからないと回答した方が約5割を占め、20歳未満は不安を感じる方が約6割を占める。
- ・ ただし、20歳以下（20歳代と20歳未満）の回答者は計20名であり、他年代と比較して極端に少ない。

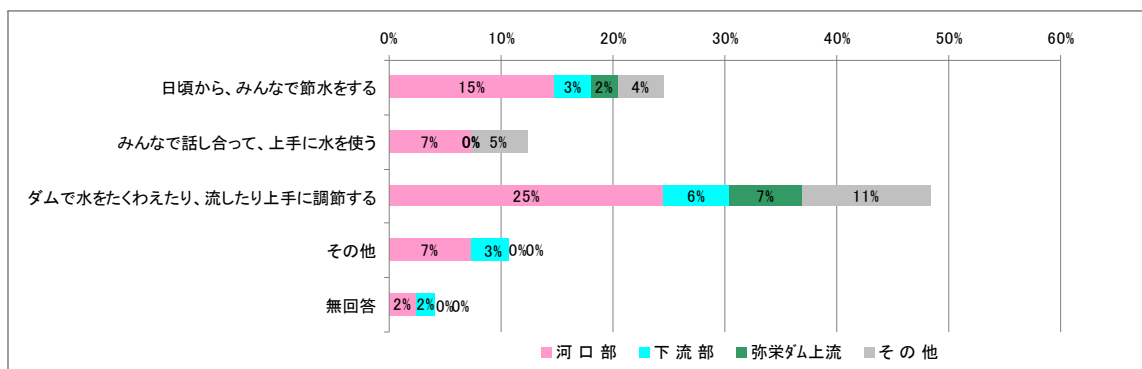
## 2. アンケートの集計結果（「水の利用」について）

Q2-1. 小瀬川の水は、みなさんの生活のために利用されていますが、現在、水が足りないと感じますか。



- ・ 湯水に対しては不安を感じないと回答された方が全体の7割以上を占めている。
- ・ お住まいの地区エリア別で見ても、不安を感じないと回答された方の割合は、いずれの地区でも多くなっている。

Q2-2. 前の設問Q2-1で「1. 感じる」と回答された方にお聞きします。（複数回答可）  
みなさんの生活が困らないように小瀬川の水量を保つためには、今後どうすることが望ましいと思いますか。



- ・ 今後必要だと考える湯水対策は、  
①ダムの有効活用  
が約5割と最も高く、次いで  
②日頃から、みんなで節水する  
が2割程度となっている。
- ・ お住まいの地区エリア別で見ただけの場合、  
いずれの地区でも①を求める回答が  
最も多くなっている。

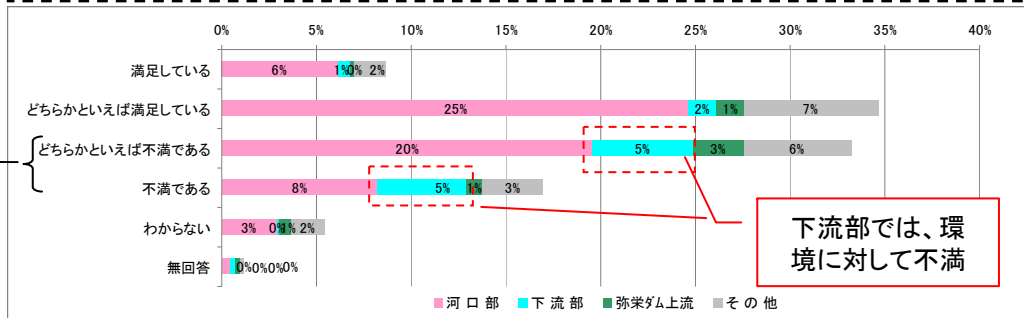
その他の代表的な意見は以下である。

- ・ 工業用水の節水を特に十分にしてもらう。
- ・ 小瀬川の水を柳井、周防大島、上関等に送水して水が足りなくなるのでは？
- ・ ダムで水をたくわえたり、流したり上手に調節し、みんなで話しあって、上手に水を使う。
- ・ 広島県呉市がやっている地下の貯水池（調整池）を作り、その上に公園をつくる。



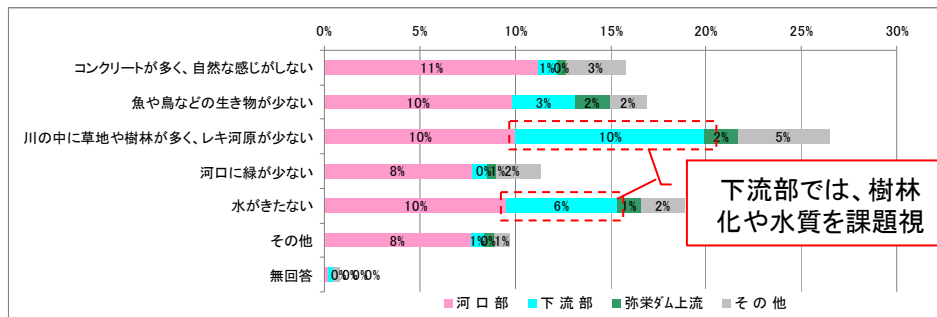
## 2. アンケートの集計結果（「河川環境」について）

### Q3-1. 現在の小瀬川の河川環境に満足していますか。



- ・現状の河川環境に満足している方と、不満を感じられている方がそれぞれ4割以上を占め、同程度となっている。
- ・お住まいの地区エリア別でみると、河口部と弥栄ダム上流では両者に大きな差は無いが、**下流部では河川環境に不満を感じる方の割合が多くなっている。**

### Q3-2. 前の設問Q3-1で「3. どちらかといえば不満である」または「4. 不満である」と回答された方にお聞きします。なぜ、不満だと感じますか。（複数回答可）



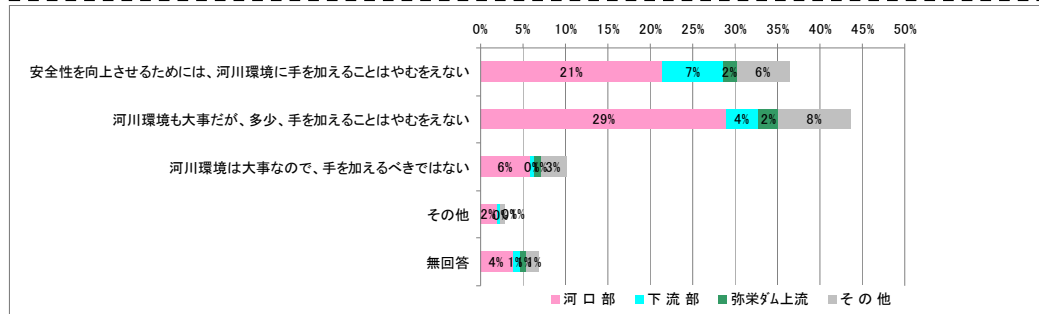
- ・現状の河川環境が不満な理由は、
  - ①川の中に草地や樹林が多く、レキ河原が少ない
  - ②水が汚い、③自然な感じがしない、④生き物が少ない
 が約3割と最も多く、次いで以下が1割強を占めている。
- ・お住まいの地区エリア別で見た場合、**下流部で樹林化や水質を課題視される方の割合が多くなっている。**

その他の代表的な意見は以下である。

- ・ゴミがたまっている。
- ・川に流れが無く河床がよごれている。
- ・水量が少ない。(流れが少ない。)
- ・魚や鳥の種類が変化していること。
- ・中市堰で水が臭う。
- ・仕方ないだろうが、水質が悪化。

## 2. アンケートの集計結果（「河川環境」について）

Q3-3. 洪水や高潮に対して安全性を確保するためには、現在の小瀬川の河川環境に手を加えても良いと思いますか。



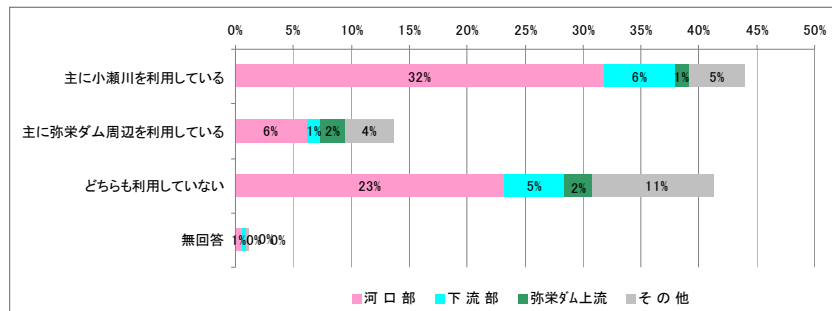
・洪水や高潮に対して安全性を確保するためには、河川環境も大事であるが、全体の約8割の方が治水対策が必要であると回答されている。

その他の代表的な意見は以下である。

- ・大洪水に備えて川幅を整備してほしい。
- ・河口域に限る。中市堰より下流。
- ・環境と安全の両立を考えながら進めて欲しい。
- ・上流の環境には手をつけないでほしい。
- ・現状で充分。

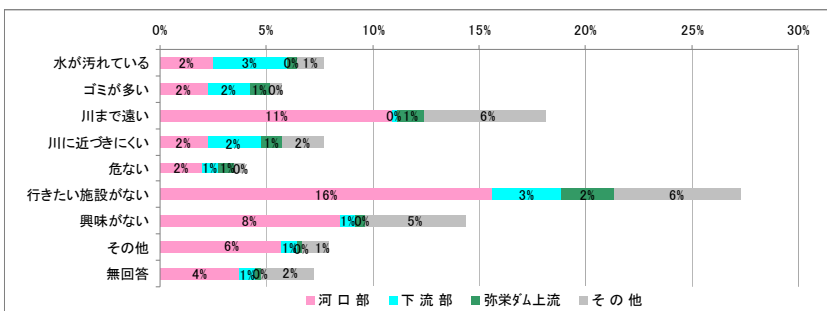
## 2. アンケートの集計結果（「川の利用場所」について）

Q4-1. 小瀬川や弥栄ダム周辺には、みなさんの健康・学習・憩いのための場所として、遊歩道・水辺の楽校・レクリエーション施設等を設けていますが、普段利用していますか。



- ・主に小瀬川を利用している方と、どちらも利用していない方がそれぞれ4割以上を占めている。
- ・小瀬川の利用目的は「散歩」と回答された方が約4割を占める。
- ・弥栄ダム周辺の利用目的も「散歩」と回答された方が約3割と最も多く、次いで「レジャー」、「自然観察」回答された方が約2割を占める。

Q4-3. 利用していない理由は次のうちどれですか。（複数回答可）



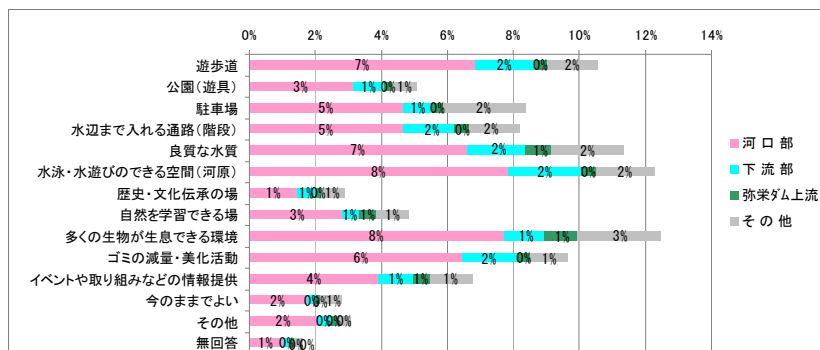
- ・小瀬川や弥栄ダム周辺を利用しない理由は、
  - ①行きたい施設がない  
と回答された方が約3割を占め、最も高くなっている。次いで、
  - ②川まで遠い
  - ③興味がない  
と回答された方が多くなっている。

その他の代表的な意見は以下である。

- ・施設を知っていない。
- ・交通の便が悪い。
- ・高齢のため。
- ・行く機会が無い。時間が無い。

## 2. アンケートの集計結果（「川の利用場所」について）

Q4-4. 小瀬川や弥栄ダム周辺をもっと利用しやすくするためには、今後何が必要だと思いますか。（複数回答可）



・小瀬川や弥栄ダム周辺をもっと利用しやすくするためには、

- ①水泳・水遊びができる空間（河原）
- ②多くの生物が生息できる環境
- ③良好な水質
- ④遊歩道
- ⑤ゴミの減量・美化活動

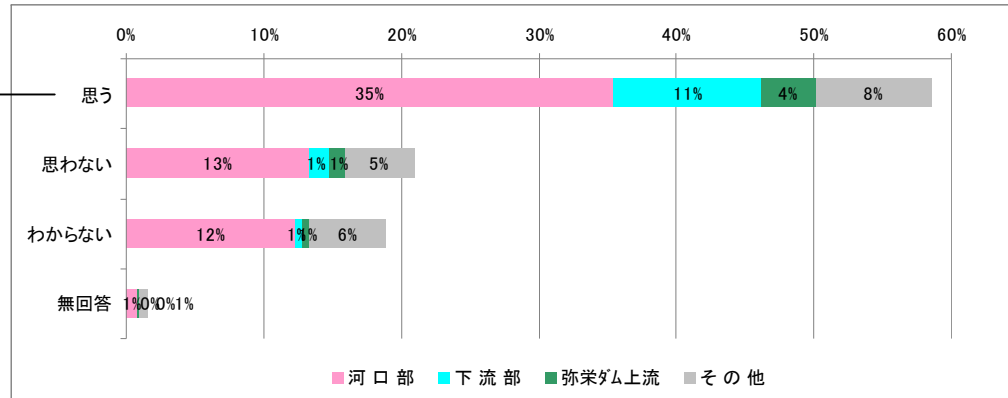
と回答された方がそれぞれ1割以上を占めている。

その他の代表的な意見は以下である。

- ・山口県側・和木と遊歩道をつなげる。（例えば飛石、潜下橋など）
- ・サイクリング専用道を設けてほしい。
- ・ドライブ中にフラットと立ち寄れるトイレや施設。道の駅みたいなもの。
- ・河原の立木、雑草の伐採。
- ・交通が不便。道順の地図が無い。

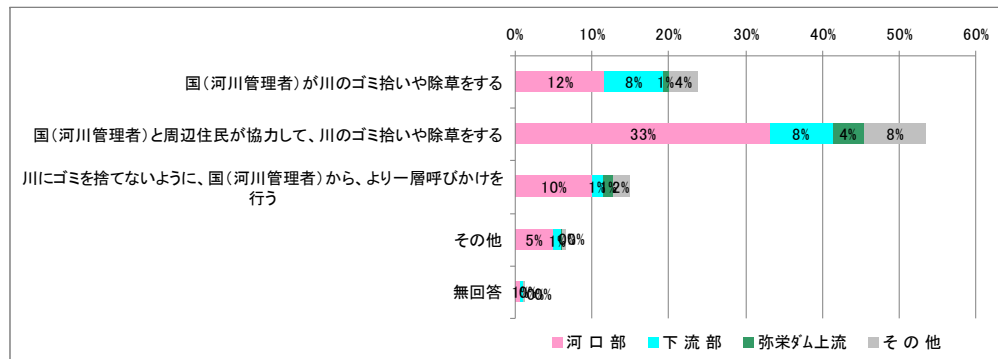
## 2. アンケートの集計結果（「河川清掃や除草などの維持管理」について）

Q5-1. 現在、小瀬川や弥栄ダム周辺には、ゴミや雑草の量が多いと思いますか。



- ・小瀬川や弥栄ダム周辺にはゴミや雑草の量が多いと感じている方が全体の約6割を占めている。
- ・お住まいの地区エリア別で見ても、ゴミや雑草の量が多いと回答された方の割合は、いずれの地区でも多くなっている。

Q5-2. 前の設問Q5-1で「1. 思う」と回答された方にお聞きします。（1つに〇）  
ゴミや雑草の少ない小瀬川を目指すためには、今後どうすることが望ましいと思いますか。



- ・小瀬川や弥栄ダム周辺で今後必要な維持管理の方策としては、  
①国（河川管理者）と周辺住民が協力して、  
川のゴミ拾いや除草をする  
が全体の5割以上を占めている。
- ・お住まいの地区エリア別で見た場合、いずれの地区でも①を求める回答が最も多くなっている。

その他の代表的な意見は以下である。

- ・ゴミ箱があればひろって捨てることができる。
- ・除草をすればゴミが減少する。
- ・利用者が汚さない様に十分気をつける事。
- ・投棄には法律で必ず処罰して欲しい。
- ・パトロール。
- ・全ての関係者による協力が必要。

## 2. アンケートの集計結果（まとめ）

### 住民意識（全体）

- 「洪水対策」について
  - ・ 約半数の方が**現状の整備に不安を感じている**。
  - ・ 特に下流部では、洪水に対して不安を感じ、河岸掘削や樹木伐開を求める方の割合が多い。
- 「高潮対策」について
  - ・ 約半数の方が**現状の整備で不安を感じていない**。
  - ・ 特に河口部では、高潮に対して不安を感じない方の割合が多くなっている。  
（現状の高潮堤防の老朽化などの情報提供不足が伺える）
- 「水の利用」について
  - ・ **渇水に対する不安感は低く**、今後も弥栄ダムによる適切な流量調整を望まれている。
- 「河川環境」について
  - ・ **現状に満足している方と、不満を感じられている方が同程度**になっている。
  - ・ 下流部では河川環境に不満を感じ、樹林化や水質を課題視される方の割合が多くなっている。
- 「川の利用場所」について
  - ・ **散歩等で身近な川を利用している方と、行きたい施設がないため利用されていない方が同程度**である。
  - ・ 河原、多様な生物環境、良好な水質が、河川を利用しやすくするために重要との意見が多い。
- 「河川清掃や除草などの維持管理」について
  - ・ **約半数以上の方が河川清掃等に積極的に協力する意識の高さ**がうかがえた。

### 3. 「小瀬川のこれからを考える会」開催結果報告

#### 第1回 小瀬川のこれからを考える会

- 開催日時：H22.9.15（水）19時～21時
- 開催場所：広島県大竹市（大竹市総合市民会館 第1研修室）
- 参加者数：22名
- 意見数：38件

#### 第2回 小瀬川のこれからを考える会

- 開催日時：H22.9.21（火）19時～21時
- 開催場所：山口県玖珂郡和木町（和木町文化会館 講習室）
- 参加者数：19名
- 意見数：23件

注）「小瀬川のこれからを考える会」でいただいた61件のご意見のほか、「ホームページ」で寄せられたご意見4件も掲載しています。

#### 住民の方からの主なご意見

##### 治水

- ・堤防の地震や津波に対する危機管理はどの様に考えているか？（大竹市栄町）
- ・地域防災の必要性を強く感じるので、今回の小瀬川流域に関する資料を地域に周知したい。（大竹市栄町）
- ・和木町には河川水位よりも堤防が低いところがある。また、上流では堤防がないところもある。対策をお願いしたい。（和木町自治会連合会）

##### 水質

- ・中市堰上流地区は、中市堰の改築後水が臭くなった。雨が降ると飲み水も生で飲めなくなるので、質の良い水を飲めるようにしてほしい。（大竹市元町）
- ・中市堰は上流ではヘドロが堆積し、これにより下流では干潟が汚れる原因となっている。農水に必要な水量を調整して、年に何回か川に流すなどの対策を行ってほしい。（大竹市栄町）

##### 河川環境

- ・河口部唯一のヨシを是非残してほしい。（和木町和木）
- ・川に親しむのと自然環境との折り合いが必要。小瀬川ではなくなりつつある環境との共生を図っていくことが重要である。是非コンクリートを使わないでほしい。（和木町和木）
- ・弥栄ダムが出来る前は、川の三原則である平瀬、早瀬、淵が形成されていたが、ダムの建設後は平瀬ばかりになって魚が棲みにくくなった。昔のようにしてほしい。（大竹市防鹿）

##### 河川利用

- ・河口部は、もっと水辺に近づけるような整備が出来ないか？（和木町和木）
- ・子供たちにも身近な川になるため、川原に小石が多いので、それを処分してほしい。（和木町和木）

##### 維持管理

- ・遊歩道の下には石が乱れて積んであるが、草がいっぱい生えている。どうにかならないか。（大竹市元町）
- ・河原に草本類が繁茂し、伝統行事の「とんど」も河原で出来なくなった。維持管理に努めてほしい。（大竹市元町）

### 3. 「小瀬川のこれからを考える会」開催結果報告

#### 住民意識・意見（全体）

- 「治水」に対する関心が最も高い。堤防等のハード整備のほか、気候変動等に関心が高いことが把握できた。
- 次いで、「河川環境」に対する関心が高い。生態系保全に関する意見のほか、治水整備との調和を望まれていることが把握できた。
- 「河川利用」では、水辺整備（河川管理用通路の延長など）が今後も継続して必要なことが把握できた。
- 「維持管理」については、左岸側（広島県側）で関心が高く、河川清掃等に積極的に協力する意識の高さがかがえた。
- 「利水」に対する関心は低い。

#### 左岸側（広島県側） の住民意識・意見

- 「河川環境」では、中市堰の底質（臭気等）に関する意見が多数寄せられたことが特徴的である。
- 栄橋やJR鉄橋周辺における堤防整備や河川管理用通路の延長を望まれている。
- 河川利用のための「維持管理」の強化を望まれている。
- 地域防災などのソフト対策にも関心が高い。

#### 右岸側（山口県側） の住民意識・意見

- 地域防災などのソフト対策よりも、堤防整備などの治水対策を望まれている。
- 両国橋周辺における河川改修事業と道路事業が連携した河川整備を望まれている。